

平成25年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年2月12日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 アルファクス・フード・システム
 コード番号 3814 URL <http://www.afs.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 田村 隆盛

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理部長

(氏名) 河原 克樹

TEL 0836-39-5151

四半期報告書提出予定日 平成25年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年9月期第1四半期の業績(平成24年10月1日～平成24年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年9月期第1四半期	389	△13.5	△48	—	△51	—	△33	—
24年9月期第1四半期	451	△20.9	△25	—	△29	—	△24	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年9月期第1四半期	△1,545.77	—
24年9月期第1四半期	△1,071.98	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年9月期第1四半期	1,716	686	40.0
24年9月期	1,756	720	41.0

(参考) 自己資本 25年9月期第1四半期 686百万円 24年9月期 720百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年9月期	—	—	—	—	—
25年9月期(予想)	—	0.00	—	1,000.00	1,000.00

(注)直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年9月期の業績予想(平成24年10月1日～平成25年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	887	△1.3	△18	—	△25	—	△20	—	△912.03
通期	2,100	13.1	57	138.1	44	323.5	26	—	1,185.64

(注)直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年9月期1Q	25,138 株	24年9月期	25,138 株
② 期末自己株式数	25年9月期1Q	3,315 株	24年9月期	3,315 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年9月期1Q	21,823 株	24年9月期1Q	22,505 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第1四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(6) セグメント情報等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興景気等により緩やかながら回復感もみられたものの、消費税率の引き上げ、長引くデフレ及び電力料金の問題等により依然として先行きは不透明な状況が続いております。

当社の主要販売先である外食産業におきましては、引き続き消費者の生活防衛意識の高まりや節約志向を背景とした低価格化や顧客獲得に関する競争は更に激しさを増しており、当社の事業領域において厳しい状況が続いております。また、第1四半期累計期間は外食産業におきまして忘年会等の繁忙期にあたるため、当社のシステムの新規設置等が難しい時期にあたります。

このような環境のもと、大手外食チェーンを中心に、従来からのASPサービス及びシステム機器を中心とした販売活動に加え、生活防衛意識の高まりにより、消費者志向が変化していることへ対応するべく顧客情報サービスに注力してまいりました。

その結果、当第1四半期累計期間の売上高は389,968千円（前年同四半期比13.5%減）となりました。利益面に関しましては、ASPサービス事業の回復の遅れによる売上の減少及び販売活動に伴う費用の増加により、営業損失48,251千円（前年同四半期は営業損失25,906千円）、経常損失51,291千円（前年同四半期は経常損失29,295千円）、四半期純損失33,733千円（前年同四半期は四半期純損失24,124千円）となりました。

事業部門別の業績は、以下のとおりであります。

当社は、ASPサービス事業を単一セグメントとしておりますが、ASPサービス事業を核として、顧客である飲食店舗にASPサービス事業、システム機器事業、周辺サービス事業を一体として提供しております。

① ASPサービス事業

当事業におきましては、月額サービスの新規顧客獲得及び既存顧客へのサービス拡大に注力いたしましたが、本格的な回復傾向とはならず、売上高は242,859千円（前年同四半期比4.7%増）となりました。月額サービス料も3ヶ月累計で218,682千円（前年同四半期比1.2%減）と推移しました。

② システム機器事業

当事業におきましては、第1四半期累計期間は忘年会等の繁忙期にあたるため店舗への新規機器設置等が難しい時期にあたります。この結果、売上高は74,019千円（前年同四半期比53.4%減）となりました。

③ 周辺サービス事業

当事業におきましては、サプライ品、機器修理及び他社商品の販売等を行った結果、売上高は73,089千円（前年同四半期比21.8%増）となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

① 財政状態の状況

当第1四半期会計期間末における総資産は、1,716,759千円となり、前事業年度末に比べ39,872千円減少いたしました。主な増減は、流動資産では、現金及び預金が68,978千円減少いたしました。固定資産においては、減価償却費14,934千円による工具、器具及び備品13,978千円の減少がありました。また、流動負債では支払手形及び買掛金20,871千円の増加がありました。未払法人税等16,816千円の減少がありました。純資産につきましては、当期純損失の計上により686,919千円となり、33,695千円減少いたしました。

② キャッシュ・フローの状況

当第1四半期累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、営業活動及び投資活動、財務活動によるキャッシュ・フローにより使用した資金により前事業年度末に比べ70,478千円減少し、当第1四半期会計期間末には429,741千円となりました。

当第1四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期累計期間において営業活動の結果使用した資金は65,159千円（前年同四半期は得られた資金46,551千円）となりました。これは主に、減価償却費21,069千円の計上があった一方で、税引前四半期純損失51,291千円の計上、たな卸資産28,583千円の増加、賞与引当金10,093千円の減少による資金の減少によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期累計期間において投資活動の結果使用した資金は5,305千円（前年同四半期は使用した資金18,268千円）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出3,808千円による資金の減少によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期累計期間において財務活動の結果使用した資金は14千円（前年同四半期は使用した資金94,805千円）となりました。配当金による支出14千円による資金の減少によるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成24年11月16日に公表いたしました業績予想から修正は行っておりません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期会計期間より、平成24年10月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる損益に与える影響は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年9月30日)	当第1四半期会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	522,720	453,741
受取手形及び売掛金	282,952	278,019
商品	414,914	445,023
その他	61,010	85,601
貸倒引当金	△3,575	△3,469
流動資産合計	1,278,021	1,258,916
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	12,240	12,092
車両運搬具（純額）	0	0
工具、器具及び備品（純額）	184,342	170,364
土地	20,429	20,429
建設仮勘定	14,123	17,583
有形固定資産合計	231,135	220,468
無形固定資産		
ソフトウェア	28,765	23,128
ソフトウェア仮勘定	2,445	2,445
無形固定資産合計	31,211	25,573
投資その他の資産		
出資金	145	154
長期前払費用	103,564	102,960
繰延税金資産	27,730	27,517
長期未収入金	82,446	79,018
その他	34,559	34,683
貸倒引当金	△36,644	△36,568
投資その他の資産合計	211,803	207,765
固定資産合計	474,149	453,807
繰延資産		
社債発行費	4,460	4,035
繰延資産合計	4,460	4,035
資産合計	1,756,631	1,716,759
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	64,179	85,050
短期借入金	561,000	561,000
1年内償還予定の社債	60,000	60,000
1年内返済予定の長期借入金	100,000	100,000
未払法人税等	18,098	1,282
引当金	14,417	4,323
その他	91,280	91,008
流動負債合計	908,976	902,666
固定負債		
社債	110,000	110,000
引当金	17,039	—
退職給付引当金	—	17,173
固定負債合計	127,039	127,173
負債合計	1,036,016	1,029,839

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年9月30日)	当第1四半期会計期間 (平成24年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	537,862	537,862
資本剰余金	143,599	143,599
利益剰余金	287,460	253,726
自己株式	△248,239	△248,239
株主資本合計	720,682	686,948
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△66	△29
評価・換算差額等合計	△66	△29
純資産合計	720,615	686,919
負債純資産合計	1,756,631	1,716,759

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成23年10月1日 至平成23年12月31日)	当第1四半期累計期間 (自平成24年10月1日 至平成24年12月31日)
売上高	451,011	389,968
売上原価	341,713	285,771
売上総利益	109,298	104,197
販売費及び一般管理費	135,204	152,448
営業損失(△)	△25,906	△48,251
営業外収益		
雑収入	282	427
営業外収益合計	282	427
営業外費用		
支払利息	2,118	2,142
支払保証料	623	525
その他	929	800
営業外費用合計	3,671	3,467
経常損失(△)	△29,295	△51,291
特別損失		
貸倒引当金繰入額	1,521	—
特別損失合計	1,521	—
税引前四半期純損失(△)	△30,816	△51,291
法人税、住民税及び事業税	393	591
法人税等調整額	△7,085	△18,148
法人税等合計	△6,692	△17,557
四半期純損失(△)	△24,124	△33,733

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成23年10月1日 至平成23年12月31日)	当第1四半期累計期間 (自平成24年10月1日 至平成24年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純損失(△)	△30,816	△51,291
減価償却費	23,562	21,069
貸倒引当金の増減額(△は減少)	1,521	△181
賞与引当金の増減額(△は減少)	△12,390	△10,093
退職給付引当金の増減額(△は減少)	1,224	133
支払利息	3,246	3,042
売上債権の増減額(△は増加)	137,953	7,922
たな卸資産の増減額(△は増加)	△28,904	△28,583
仕入債務の増減額(△は減少)	△58,372	20,871
その他の流動資産の増減額(△は増加)	6,285	△9,406
その他の流動負債の増減額(△は減少)	17,021	△1,432
その他	531	683
小計	60,863	△47,266
利息の支払額	△1,329	△2,098
法人税等の支払額	△12,982	△15,793
営業活動によるキャッシュ・フロー	46,551	△65,159
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△5,927	△3,808
無形固定資産の取得による支出	△3,000	—
定期預金の預入による支出	△2,100	△1,500
敷金及び保証金の差入による支出	△7,442	—
その他	201	2
投資活動によるキャッシュ・フロー	△18,268	△5,305
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	414,000	450,000
短期借入金の返済による支出	△414,000	△450,000
自己株式の取得による支出	△79,237	—
配当金の支払額	△15,568	△14
財務活動によるキャッシュ・フロー	△94,805	△14
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△66,521	△70,478
現金及び現金同等物の期首残高	644,871	500,220
現金及び現金同等物の四半期末残高	578,349	429,741

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

当社は、ASPサービス事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。